

〔議案第22号〕 令和6年度鹿角市一般会計予算

問 (歳入) 自主財源の比率と増減の理由は。

答 令和6年度における自主財源の比率は32.2%となっている。令和5年度当初の30.8%から1.4ポイント増加しているが、財政調整基金、ふるさと鹿角応援基金からの繰入金などの増加が大きな要因となっている。

問 (財産管理費) 公共施設解体基金積立金について、公共施設の解体の見通しは。

答 旧八幡平市民センターや自然休養村管理センターなどの解体を計画しているが、より跡地の利用が期待できる十和田図書館を優先し、令和8年度の解体を目指していく。

〔6陳情第2号〕 公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情

「先進事例を参考としたとき、本市においては条例を制定する必要まではないものとする」との意見が出され、全会一致で「不採択」とすべきものと決定した。

〔議案第22号〕 令和6年度鹿角市一般会計予算

問 (生活安全対策費) 空き家等適正管理推進事業について、危険老朽空き家除去費補助金の利用件数の見通しは。

答 来年度は9軒分の解体に対する補助を見込んでいる。今年度市が実施した危険空き家調査の結果の通知や相談者への制度の周知を行い、危険空き家の解消を図っていく。

問 (空き家等適正管理推進事業) 新年度計上された除雪委託料の内容は。

答 所有者の不明な物件から市道除雪対象路線へ落雪があった場合で、自治会等の協力を得ることが困難なケースにおいて市道の通行に著しく支障をきたしていると認められる場合に限り排雪を行うもの。

問 (地域公共交通維持確保対策事業) 鹿角高校スクール線運行確保補助金は、赤字路線を維持するために十分か。

答 鹿角高校スクール線は鹿角花輪駅と鹿角高校を結ぶ路線であり、補助金は収支不足分の補てんをするためのもの。バス利用者が増加した場合は補助金額も圧縮されていく。

問 (後期高齢者医療費) ポピュレーションアプローチ健康教育委託料の事業内容は。

答 高齢者の健康づくりのため、鹿角市地域生き生きサロンで実施している事業の取り組みを拡大するために外部委託するもの。具体的には75歳以上の高齢者を対象としてフレイルチェックや低栄養予防、口腔ケア等の健康教育を行う。

問 (保健衛生対策費) 医師確保対策事業について、これまでの成果と今後の医師確保の見込みは。

答 医師確保業務委託料については、これまで5件の相談があったが、かつの厚生病院の医師確保につながる成約には至っていない。医師修学資金貸付金の利用者についても定期的にコンタクトをとっており、事業を継続することによって数年の間に成果が表れてくると考えている。

〔5陳情第12号〕 健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情

「現在、保険証とマイナンバーカードのどちらも使用できるが、併用ができることによる不正受給が問題となっている。また、マイナンバーカードの活用はDXの推進と市民の健康福祉の増進に資することが期待されることから、不採択とすべき」との意見が出され、全会一致で「不採択」とすべきものと決定した。

〔5陳情第15号〕 年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情

「本市の状況と異なる地域からの陳情であるが、労働力人材確保のため外国人労働者を受け入れている状況、厚生労働大臣も必要な検討を行うという発言をしていることから趣旨採択とすべき」との意見が出され、全会一致で「趣旨採択」とすべきものと決定した。